



# 桑の緑

小坂小学校 学校便り

令和3年10月11日  
文責：校長 江上 知男

## タブレットが積極的に活用され始めています！



国語の学習(2年)

理科の学習(6年)

御船町教育委員会の尽力で、全児童分のタブレット導入及びWi-Fi環境の改善がなされましたが、運動会も終わってタブレットが積極的に活用され始めています。上の写真は2年生と6年生の活用風景ですが、実は「同じ時間」なのです。これまで、タブレット数やWi-Fi速度の関係で、2学級以上と一緒に活用することはできませんでしたが、これができるようになりました。

このような「ICT活用」で、子どもたちにどんなメリットがあるのでしょうか。私なりに整理しました。

- ① **授業内容の質が広がる**：黒板やノートを中心とした授業(これは今後も重要!)にプラスして、画像や映像をふんだんに使ったり、離れた人とコミュニケーションをとったりできる。
- ② **興味や関心が高まる**：知りたいことが簡単に検索できたり、音声やアニメーションを使うことで興味や関心を持ちやすくなる。さらに、文章と映像の融合で物事が理解しやすくなる。
- ③ **主体的・協働的な学習になる**：タブレットをとおして先生や友達とつながり、これまでより自分の意見を表明しやすくなったり、お互いのコミュニケーションを取りやすくなったりする。
- ④ **視覚的・聴覚的に情報を伝えられる**：図を立体的に表現すれば、平面での学習よりも理解度が大幅にアップするなど、情報を的確に伝えられるため正しい理解に繋がりがやすい。

子どもたちに、「タブレットの学習どうですか?」と尋ねたところ、「タブレットを扱うことが楽しい」「すぐに調べられて便利」「文章を書くのに抵抗感が消える」等々の反応がありました。個別のペースによる作業が増えるので、「子どもたちの意識が学習に集中する時間」は増えると思います。

一方で、ICT活用は「目や姿勢、依存など心身に与える影響」「セキュリティやマナーの問題」等々の配慮すべきことが多々あることも事実です。今後、デメリットも理解しながら活用します。

**温かく素敵な手紙** 5年生の通信に書かれていた文章です。この便りを読んでくださる全ての人に読んでいただきたく、許可を得て載せさせてもらいました。この手紙は、ある5年生が書いたものです。マスク着用や黙食が守れていない状況に心を痛めて、担任に手渡したそうです。

みなさんに言いたいことがあります。コロナの時期になってマスク生活が増え、外したい気持ちはよくわかります。でも、マスクをはめないといけません。マスクをはめ続けると、いつかコロナウイルスの感染もおさまり、マスクが取れる日がきっと来ます。多くの人がマスクをはめれば、マスクを外していい時ができるだけ早く来ると思います。私はそう考え、毎日マスクをはめて生活し、給食の時は黙食をしています。

これが私たちでもできる方法です。みんなで乗り越えていきましょう。

5年担任が読み聞かせると、「たしかにそうだね!」とうなずく子どもや、納得して自然に拍手をする子どもなどがいたそうです。担任は「クラスのことを考えて書いた温かい手紙が、みんなの心にしっかりと届いた」と感じたそうです。手紙を書いた子どもの勇気、読んだ子どもたちの素直さ…心が温かくなりました。